

令和元年度第1回蕨市立学校給食センター運営委員会会議録

開催日時	令和元年7月17日(水) 午後3時～4時10分
場所	蕨市立学校給食センター2階栄養指導室
出席委員	岡村みどり委員 座光寺 剛委員 山口 浩委員 新井 陽委員 新島 緑委員 坂本さゆり委員 庄 喬委員 前川やすえ委員
欠席委員	朝倉 伸行委員 横田 秀雄委員
参与	教育部長 渡部 幸代
事務局	越 正男 川辺 章子 宍戸 正弘 中山 沙苗 西川 聡子
会議内容	
1 開 会	
2 委嘱状交付式	教育長より委員へ委嘱状を交付
3 あいさつ	教育長あいさつ
4 委員及び事務局紹介	
5 議 題	<p>(1) 委員長・副委員長の選出について</p> <p>教育長が仮議長として議事進行にあたり、委員長に塚越小学校校長 山口浩委員、副委員長に東中学校PTA副会長 岡村みどり委員が選出されたところで、教育長より委員長へ学校給食費の改定に係る諮問書を交付。</p> <p>委員長あいさつ。</p> <p>これ以降、委員長が議長として議事進行にあたる。</p> <p>(2) 平成30年度給食数及び学校給食費調定収入状況について</p> <p>事務局より別途資料に基づき、延べ給食数、回数及び調定額、収入額、収納率について説明。</p> <p>質問なし。</p> <p>(3) 平成30年度給食用賄材料費の内訳について</p> <p>事務局より別途資料に基づき、主食費(米飯、パン・麺類)、副食費(肉・魚介類、青果物、牛乳)の小中学校別の内訳について説明。</p> <p>質問なし。</p> <p>(4) 平成30年度給食用賄材料購入価格状況について</p>

事務局より別途資料に基づき、主食、牛乳、副食について平均単価を前年度と比較しながら説明。

質問なし。

(5) 平成30年度栄養状況について

事務局より別途資料に基づき、平成30年度の児童・生徒一人当たりの栄養状況について説明。

質問なし。

(6) 給食費の改定について

別添資料に基づき、給食費の現状及び背景について説明。

質問なし。

主食費、副食費、牛乳費で構成される1食当たりの単価において、年々減少している副食費の割合を憂慮し、前回改定時程度まで副食費を回復させることをねらいとした、改定額2案を事務局より提示し、審議に入る。

試算案①副食費の割合 小学校58% 中学校60%とした場合

小学校4,100円 中学校4,800円

試算案②副食費の割合 小学校59% 中学校61%とした場合

小学校4,200円 中学校4,900円

*主食費 ごはん・パン・麺・牛乳等

副食費 おかず

委員 副食費の割合を平成26年度分まで引き上げかつ消費税が上がることを考えると、試算案②への値上げが好ましい。

委員 原材料費の高騰を考慮すると試算案②への値上げが好ましい。

委員 子供達のことを思うとバランスがとれた給食が望ましいことから試算案②への値上げが好ましい。

委員 栄養面や物価を考慮すると試算案②への値上げが好ましい。

委員 蕨市の給食費が県内でこんなに低いとは思わなかった。少しずつ上げるよりは、試算案②への値上げが好ましい。

委員 消費税増税への影響は試算案に反映されているのか。

事務局 飲食料品については、軽減税率の対象であるため見込んでいないが、高騰する人件費や輸送費のコストが転嫁されることが予想される。

委員 近隣市より給食費が高くなってしまうことへの配慮はどうか。

事務局。試算案①の場合は、諸物価の動向を注視しながら、3～5年以内に改定を再検討する余地を残した附帯条件としている。また、川口市は改定に向けた検討を行っていると同っている。

委員 消費税増税や質の向上の為には試算案②への値上げが好ましい。

委員 市の大小で値上げ幅は影響するのか。

事務局 自治体の規模というよりは、運営方法によるところが大きいかと思われます。

委員 試算案②への値上げが好ましい。

委員 不足している栄養素があるのは意外だった。300円～400円の値上げであるが、反対する人は値上げ自体に反対なので試算案②への値上げが好ましい。

以上各委員からの意見を踏まえ、改定額は試算案②に決定した。また改定時期については、事務局案のとおり令和2年4月からと決定した。

事務局 9月に保護者向けに学校給食費の改定アンケートの実施を予定している。

(7) その他

給食費改定についての今後のスケジュールを事務局より説明。

6 閉 会

岡村副委員長あいさつ